

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

**MBA**  
in ACCOUNTANCY

Graduate School of  
Kansai University,  
School of Accountancy

# 関西大学 会計専門職 大学院

アカウンティングスクール

2023

# 会計専門職大学院の

1

## 豊富な授業科目

キャリア設計に  
最適

▶ P.6参照

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、これからの時代に即した国際化・IT化にも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

## 最適な学修環境

24時間365日  
自習室利用

▶ P.14参照

本会計専門職大学院生全員分の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

## 会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

▶ P.8・9参照

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

修得した会計の  
実力で実践を

4

## 充実の奨学制度

▶ P.21参照

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金から貸与奨学金に至るまで、豊富な奨学制度を用意しています。

5

## 各種試験に対応

▶ P.13参照

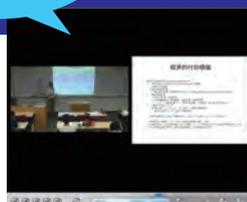
本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、プライベートバンカー(PB)試験の科目免除や証券アナリスト、U.S. CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

# 10の魅力

## 主要講義の動画配信

理解できるまで  
何度でも

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。



6

➡ P.12参照

## さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験や日商簿記1級試験等の対策ができます。[CPA資格取得支援プログラム(基礎講座・対策講座)]

これから  
学ぶ方にも

7

➡ P.13参照

## 導入科目群科目と課外講座

会計をこれから学ぶ方には、その導入から丁寧な教育を行います。また、導入教育をサポートするため、課外講座を設け、着実に理解できるよう配慮しています。

社会人の  
方にも

8

➡ P.12・13参照

## 梅田キャンパスでの授業開講

阪急大阪梅田駅から徒歩5分の梅田キャンパスでも授業を開講しています。梅田キャンパスでの授業は夜間開講となっており、昼間は千里山キャンパスで受講し、夜間は梅田キャンパスでの受講もできます。また、社会人の方は終業後に梅田キャンパスで受講することも可能です。本授業は社会人と会計専門職大学院生の共同授業となっています。



9

➡ P.14参照

## 長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①じっくりと時間をかけて勉強できる。②社会人の方にとっては年間の履修科目を少なくすることで働きながら学修できる。③学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

10

➡ P.23参照

## 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。
- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

## カリキュラム・ポリシー

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

### 1 教育内容

- (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、
  - ①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
- (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
- (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニ

ングを可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。

### 2 学習成果の評価

- (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
- (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
- (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
- (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

## ディプロマ・ポリシー

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士(専門職)の学位を授与します。

### 1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

### 2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。

### 3 (主体的な態度)

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

富田 知嗣

みなさん、  
関西大学会計専門職大学院  
(アカウンティングスクール) へようこそ!

関西大学会計専門職大学院は、国際会計士連盟(IFAC)の国際教育基準(IES)に準拠した教育サービスを提供することで、世界水準で通用する、理論と実務に習熟した高度職業会計人の養成を目的にしています。この目的には、会計教育に加え、財務・法律・税務・経営・経済などの得意分野をそれぞれの学生が修得することまで含みます。

私たちは、会計+αを備えた「会計心をもった超会計人」として、会計士業界・産業界・官公庁のリーダーたりうる高度職業会計人(MBA in Accountancy)を輩出します。

そのために、本大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置したうえで、得意分野を伸ばすための個別演習科目を置いています。この結果、学生は自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリアを設計することができます。また、学生には24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意することで、その自由な学修を後押しします。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけませんか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の教育サービスを提供します。

## コンテンツ Contents

- 2 会計専門職大学院の10の魅力
- 4 設置の理念
- 5 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 6 カリキュラム
- 7 履修モデル
- 8 講義紹介／インターンシップ体験談
- 10 在学生・修了生からのメッセージ
- 11 カリキュラムツリー
- 12 サポート体制
- 14 施設紹介
- 15 就職支援
- 16 公認会計士試験合格者体験談
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要

## 研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 1名 兼任教員 32名
授業形態	昼間開講(一部科目を夜間に開講)
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2022年4月現在

# 会計心(Accounting Mind)をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

横軸に科目群として、「導入科目群」・「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義(Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目(学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2022年度入学生適用カリキュラム>

系 統	導入科目群	基本科目群	発展科目群	発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	応用・実践科目群	横断科目
財務 会計系	中級商業簿記	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	公会計論 BATIC 演習 IFRS 演習 貸借対照表論 連結会計実務	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発展科目群 特殊講義(Specific Lecture)</div> 税務と会計 ※ 会計専門職業数学 企業情報の読み方と使い方 ※ 新規ビジネスの立上げと 成長戦略 ※ 企業マネジメントと会計
管理 会計系	中級工業簿記	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	コンサルティング実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">応用・実践科目群</div> アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導 (導入) 論文指導 (基礎) 論文指導 (実践) 修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ
監査系		監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	自治体マネジメント監査 不正摘発監査論 国際監査事例研究 会計検査制度論	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	
法律・ 税務系		企業法	商取引法 会社法 民法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	民法 (債権)	企業法判例演習 税務事例研究	
経営・ 経済系			経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 統計学 ミクロ経済学 マクロ経済学	資本市場論 起業・株式公開事例研究	企業実践コミュニケーション	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※ 梅田キャンパス開講科目</div>

## ・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記および中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- (1) 基本科目群 : 16単位
- (2) 発展科目群 : 16単位
- (3) 応用・実践科目群 : 12単位

## ・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

## ・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位

## ・学年暦・時間割をチェック!!

会計専門職大学院の  
ホームページで  
学年暦や時間割をご覧ください。



## 研究科紹介

- [📄 学則](#)
- [👤 学生数](#)
- [📅 学年暦](#)
- [🕒 時間割](#)

## 進路やニーズ、個々のレベルに応じた履修が可能

## 履修モデル① 【公認会計士】をめざす

〔2022年度入学生適用カリキュラム〕

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論	会計事例研究 ディスクロージャー実務	監査法人インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 企業分析論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	監査実施論 監査報告論	監査事例研究 基本監査プログラム演習	
法律・税務系	企業法	会社法 法人税法 上級税務会計論 租税法会計論	税務事例研究	
経営・経済系		経営学理論 マクロ経済学		

ここがポイント!

「基本科目群」を学修することで、公認会計士短答式試験に合格する学力をしっかりと身につける。「発展科目群」の中から試験に対応する科目を能動的に学ぶことで、論文式試験に合格する水準まで自分を高めていく。さらに、「応用・実践科目群」等で深く学び、監査業界等のリーダーとして、考動力をもって社会の要請にこたえる公認会計士となるための努力を行う。

## 履修モデル② 【企業人・公務員等】をめざす

〔2022年度入学生適用カリキュラム〕

	基本科目群	発展科目群	応用・実践科目群	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
財務会計系	上級簿記論 上級財務会計論	会計基準論 IFRS会計論 財表作成簿記論 英文会計論	会計事例研究 会社経理実務 IFRS事例研究 基本会計プログラム演習 実践会計プログラム演習	企業インターンシップ アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション
管理会計系	上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	
監査系	監査制度論 会計専門職業倫理 監査基準論	内部監査論		
法律・税務系	企業法	上級税務会計論 法人税法 会社法		
経営・経済系		経営学理論 コーポレートファイナンス論 経営戦略・組織論	企業実践コミュニケーション	

ここがポイント!

会計専門職業人になるためには、2つのポイントがある。まずは、会計の基礎をきっちりと身につけること。「基本科目群」「発展科目群」で公認会計士に匹敵する基礎力を学ぶことができる。さらに、国際化、IT分野、財務、法律・税務、経営等、会計専門職業人に求められる専門分野は幅広い。「応用・実践科目群」等で、理論的かつ実践的な講義を受け、演習に積極的に参加して、企業人や公務員等としての優位を確立する。

## 関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

ピックアップ講義

## 会計専門職業倫理



清水 涼子 教授  
実務家教員：公認会計士

監査および会計の専門家である公認会計士には、公益上の使命と職責を果たすために、専門的知識の修得に加えて、独立性の保持および倫理に関する高い意識が求められています。会計専門職大学院には、とりわけ高い職業的価値観と高度な倫理観に根ざした会計プロフェッションの育成が期待されているのです。このような社会的要請を受け、関西大学会計専門職大学院では、会計・監査・財務サービスの高度化・拡大への対応の柱の一つとして「公益を意識した職業倫理観を醸成」する教育を掲げています。本科目は、まさにこの目的を達成するための必修科目であり、健全な会計マインドと高度な倫理観を備えた人材の育成を目的とします。授業は、理論・制度・実務の3本柱で構成し、通常の講義形式のみならず、ディスカッション、ロールプレイ、プレゼンテーション等を通じて、さまざまな角度から職業倫理の意義を考察することにより、最終的には倫理的意思決定能力を身につけることをめざします。

+α

## 監査法人インターンシップ体験談

【インターンシップ先】EY新日本有限責任監査法人

【実習期間】2020年2月12日(水)～14日(金) (3日間)



石本 裕貴さん  
2021年3月修了

普段の学生生活で触れることのない監査の実情を知り、今後の学修や資格取得後の就職に向けて参考にしたいと考え、インターンシップに臨みました。

体験した業務は主に3点ありました。監査や財務アドバイザーを疑似体験するグループワーク、身近な消費財(飲料)を通じて実践的な監査の視点を養う消費財ワーク、そして会計専門職や監査法人に求められる機能や能力を議論し発表するプレゼンテーションです。これらを通じて監査法人で働くうえで求められる能力や視点、知識がどのようなものかを体感することができました。特に、消費財ワークで身近な企業を検討対象として、公認会計士の方と不正のリスクについてディスカッションした経験は、大学院で学んだ知識と実務の関係性が見えて価値のある時間となりました。

以上の業務を通じて監査や会計の学修の意義を強く感じられるようになり、公認会計士資格取得への意欲が大きく強まりました。

# 関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

ピックアップ講義

## 会社経理実務



池上しのぶ

特別任用教授

実務家教員：公認会計士

実際の会社で行われている経理実務は、規模や業種、管理方針等の違いによりさまざまです。

また、簿記の問題のように会計処理に必要な情報が処理前に全て明らかにはなっておらず、会計処理に必要な情報は、経理部が各部署や子会社等から積極的に収集し、集めた情報の内容が会計上どのように影響するのかを評価したうえで処理を実行していかなければなりません。

つまり、会計人としてのスキルは単に簿記の問題が解けるというだけでは不十分であり、情報収集能力および事実認識能力を備えてこそ十分に発揮されます。そこで、本講義は、業種ごとにさまざまな経理実務がある中でも、経理が果たすべき本来の役割を理解していただき、簿記の処理の前提となる必要な情報収集能力および事実認識能力を高めていただけるよう講義を展開していきます。

皆でたくさん議論して、会計の能力を一段と高めてまいりましょう。

+a

### 企業インターンシップ体験談

【インターンシップ先】あすか税理士法人

【実習期間】2021年9月6日(月)～10日(金) (5日間)



村尾 萌さん  
1年次生

私は現在、税理士をめざして税理士試験の勉強をしています。インターンシップに参加した理由は、税理士法人の業務や職場の雰囲気実際に触れ、将来自分がこの業界でどのように働きたいのかを考える機会にしたいと思ったからです。

インターンシップでは、会計伝票からの会計入力、試算表・決算書・申告書作成などを体験しました。また、会計決算の方法や法人税・消費税の必要な知識は、実際の書類を利用しながら座学形式の講義で身につけ、また、業務の内容や目的、実務での注意点も学ぶことができました。模擬クライアント訪問では、税理士の仕事が会計入力や書類作成だけでなく、税務や経営に関する相談からクライアントの個人的な相談など多岐にわたることや、クライアントとコミュニケーションを取り、よい関係性を築くことの大切さを感じました。

インターンシップを通して、税理士として求められる価値について知り、やりがいのある仕事だと改めて考えました。また、関西大学会計専門職大学院で過ごす時間を、より有意義なものにできるよう意識するきっかけにもなりました。インターンシップに参加して本当に良かったです。

※プロフィールの学年は2022年3月時点

## 在学生からのメッセージ

公認会計士試験合格はもちろん  
さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。



**白根 直樹さん**  
Shirane Naoki  
1年次生

大学3年次にインターンシップ等の就職活動の最中、私は社会人として社会でどのように活躍できるのか疑問にもちました。その頃に、会計専門職大学院の存在を知り、大学院において会計について深く学び、会計を通して社会に貢献したいと考え、進学を決めました。

いくつかの会計を専門とする大学院がある中、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選んだ理由は、学びの環境が充実していたことでした。本学AS生専用の自習室、パソコン教室はもちろん、多様な授業と講師の方々に質問しやすい環境が素晴らしいと感じました。また、正規授業の一環として企業(経理部や税理士事務所等)や監査法人へのインターンシップがあるのも魅力的だと感じました。

私は公認会計士をめざし勉学に励んでいます。本学ASに入学して、とても良かったと感じることは環境はもちろんですが、同じ目標をもつ友人と出会えたことです。友人と切磋琢磨し、勉学に励むことができることは何物にも代えがたいと感じています。

	7:00	9:00	12:10	13:00	14:30	15:00	19:00	21:00	22:00	24:00
主な1日のスケジュール	起床・準備・移動	授業	昼食	授業	休憩	自習	移動・夕食	自由時間	復習・自習	就寝

## 修了生からのメッセージ

公認会計士・監査法人以外にも  
多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。

CASE  
1



**布田 拓也さん**  
Nunota Takuya

### 泉佐野市議会議員・株式会社チイキモリ代表

私は関西大学法学部卒業後、市議会議員選挙に出馬し2票差で落選し、その経験から、本当に泉佐野市の役に立てる人間にならなければいけないと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)への進学を決めました。目的は全国ワースト2の財政状況を建て直す力を身につけるためです。会計を学んだことから、監査をするような視点で財政建て直しのための政策を明確に打ち出すことができ、財政危機を乗り越える役に立つことができたと思います。今は市議会議員を4期務めながら、起業もすることができました。

本学ASでは、朝から晩まで長時間仲間と共に学び合い、とても濃く楽しい2年間を過ごしました。そのお陰で10年以上経った今でもさまざまな職に就いた仲間と仲の良い関係が続いています。先生方にも卒業後も長いお付き合いをしていただいております。人生において本当に貴重な宝物のような時間だったと感じています。

\*肩書は2022年3月時点

CASE  
2



**村瀬 智弘さん**  
Murase Tomohiro

### 日本公認会計士協会 勤務

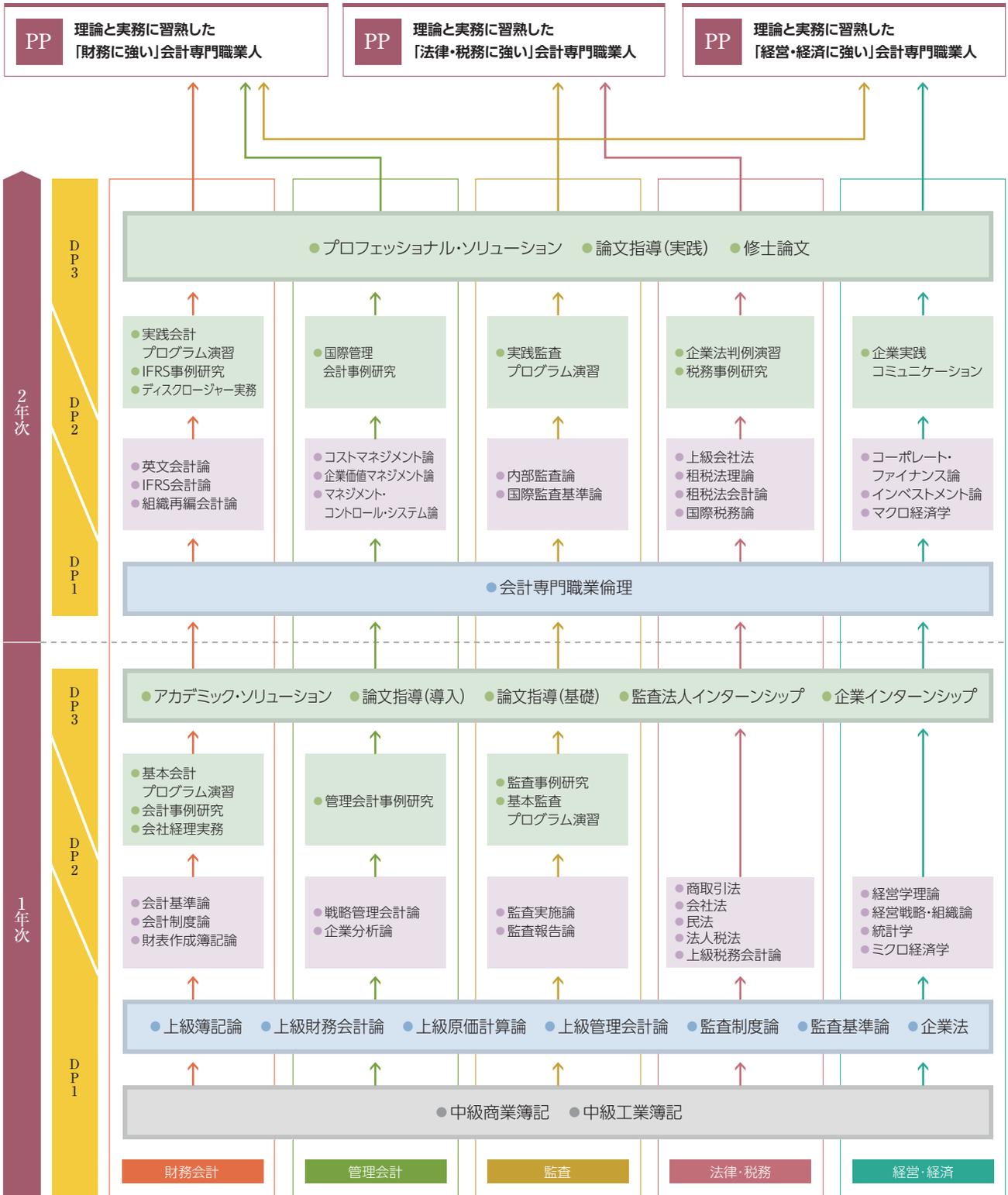
私は、会計監査の専門知識を実務的な視点から学びたいと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。学生生活では、充実した学修環境と共に、分野別に構成されたカリキュラムがあり、理論と実務を体系的に学修することができました。

また、国・地方自治体等の公的分野の会計・監査制度に最も興味をもちました。具体的には、事例研究の講義を通じて、国の財政活動の基本的考え方、会計情報の国民への説明責任の履行など、行政活動の多様化により税財源の使途を開示する社会的必要性を学びました。

本学AS卒業後、日本公認会計士協会に就職し、独立行政法人・国立大学法人等の実務指針の改正業務を担当する中で、関係省庁(総務省・財務省等)との折衝等において、実務上の課題を検討するなど、本学ASで学んだ知識を生かすことができました。

現在は、企業の不正会計等の個別事案に関し、それを監査していた公認会計士等の指導・監督に携わる業務を担当しています。

- 導入科目群
- 基本科目群
- 発展科目群
- 応用・実践科目群
- DP ディプロマ・ポリシー
- PP プログラム・ポリシー



**DP1 (知識・技能)**

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。

**DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)**

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として行動力をもって社会の要請にこたえることができる。

**DP3(主体的な態度)**

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。

入学前

在学中

## 入学前教育プログラム

新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。



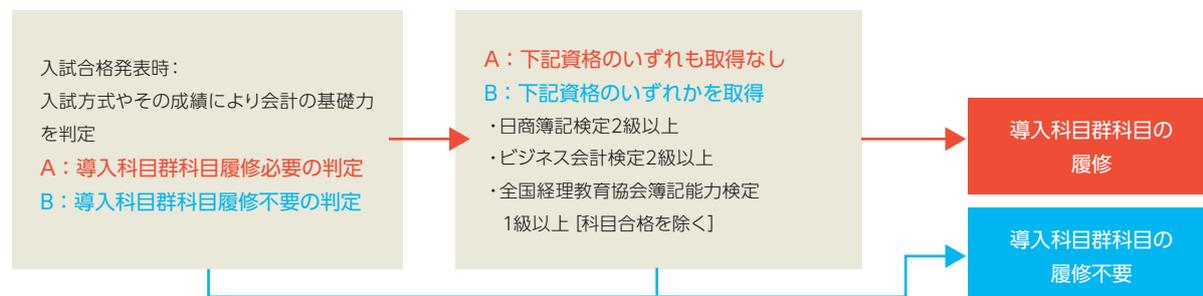
入学前

## 導入科目群科目

在学中

本会計専門職大学院は、会計について基本的な知識を有していることを前提に、高度で専門的な知識を段階的に提供していますが、入学生の中には、「超会計人」になるための素養は有しているものの、会計についての基本的な知識をまだ有していない方もおられます。そこで本会計専門職大学院では、これまで実施してきた入学前教育プログラムに加えて、特にこうした方を対象に、専門的な学修を行う前段階として、導入科目群（「中級商業簿記」「中級工業簿記」の2科目）を設置し、入学後に提供しています。なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目（企業法、監査制度論、監査基準論を除く）の履修は認められません。

【導入科目群科目 履修決定のフロー】 Aの場合→へ Bの場合→へ



## 動画配信

履修している基本科目等の主要科目については、パソコン等からその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。



## ソリューション

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識だけではありません。1つの課題に対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。



## 修了後

## 課外講座

在学中 修了後

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生の受講者については、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

## CPA資格取得支援プログラム

公認会計士試験(短答式、論文集)に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざします。この講座は「資格の学校TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されます。

## 担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

## 受講者のメッセージ

私は、公認会計士試験について初学者であり、基礎となる知識を得たいと考え、CPA資格取得プログラムを受講しました。また、TACの教材も手に入ると聞き、学業にもその教材を利用できると考えたからです。実際、今でも教材を利用しており大変役立っています。

講義の内容としては、企業法以外はすべて問題演習とその解説が中心でした。企業法だけは、卒業後の免除科目から除かれているためコマ数も多く、内容も教科書に沿って理解を促すものとなっていました。私と同じく初学で企業法以外の講義に参加するのであれば、問題演習の時間を無駄にしないためにも該当範囲の予習は必須であると考えます。講師の方はどなたも丁寧に教えてくださり、各科目についての理解を深めることができました。

これからCPA資格取得プログラムを受講される皆さんの公認会計士試験合格をお祈りいたします。



井ノ上 優徳さん  
1年次生

## 各種試験

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。なお、日本証券アナリスト協会とプライマリープライベートバンカー資格試験において提携しています。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



修了後

※プロフィールの学年は2022年3月時点

## 会計専門職大学院自習室



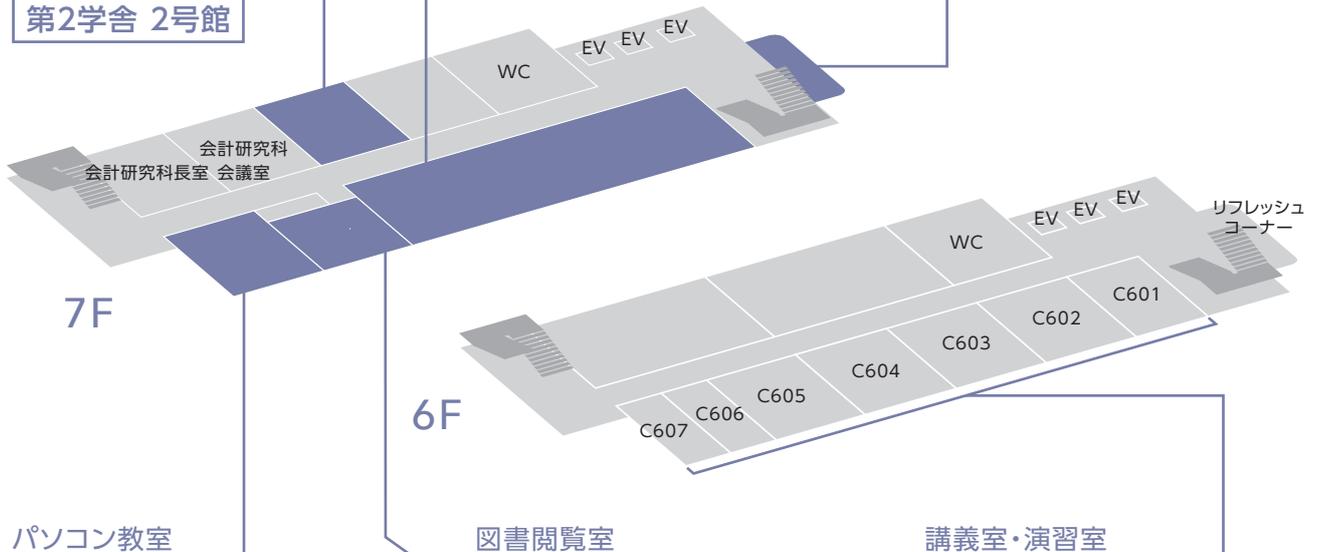
本会計専門職大学院生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。同建物内1階にコンビニと食堂もあります。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。

## 図書資料室



本会計専門職大学院生専用の会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。

### 第2学舎 2号館



## パソコン教室



パソコン教室では「会計監査プログラム」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

## 図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

## 講義室・演習室



講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。7階に自習室、1階にはコンビニ、食堂もあり、非常に快適な学修環境を提供しています。

## 総合図書館

総合図書館は、地上3階・地下2階からなり、21,750㎡の総面積を持つ、大学図書館としてはトップクラスの設備と規模を誇る施設です。高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を含め、蔵書数は231万冊以上あります。

## 第2学舎1号館(教務センター)

教務センター(会計研究科担当)があり、履修や修学・学生生活に関する相談・質問に対応します。

## 梅田キャンパスでの授業開講

関西大学梅田キャンパスで、会計専門職大学院の授業の一部を夜間の時間帯で開講しており、自分のライフスタイルに合わせた科目履修が可能になります。また、梅田キャンパスで開講されるビジネス講座は、広く社会人にも開放しています。

※2022年度は秋学期3科目開講



# 就職支援

## 専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを生かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

## 一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりするなどの支援も実施しています。



▲2021年11月に開催された監査法人業界研究セミナーの様子  
2021年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwCあらた有限責任監査法人、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、BPO三優監査法人、有限責任監査法人トーマツ、太陽有限責任監査法人の7社でした。

### ■ インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去5年間の実績)

監査法人	企業
有限責任監査法人トーマツ	住友精化株式会社
	株式会社カネカ
有限責任あずさ監査法人	住友理工株式会社
	株式会社オービック
EY新日本有限責任監査法人	あすか税理士法人
	日本経営ウィル税理士法人
PwCあらた有限責任監査法人	税理士法人 和

## 就職状況

本会計専門職大学院では、在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

### 過去5年間の修了生のおもな就職先

- YKK株式会社
- 大阪商工会議所
- 住友理工株式会社
- 合同製鐵株式会社
- 株式会社ウィルテック
- 総合警備保障株式会社
- SMBC日興証券株式会社
- 住友精化株式会社
- 株式会社日立プラントソリューション
- 株式会社コナミデジタルエンタテインメント
- 東京国税局
- 株式会社平和堂
- 税理士法人 和
- 大阪国税局
- サントリーホールディングス株式会社 ほか

## CASE

## 1

有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所 勤務

## 関西大学会計専門職大学院生活での様子

石崎 日香莉さん Ishizaki Hikari

私は、試験勉強において、多彩な講師陣の授業を受けることができる環境とそれと同じくらい自習環境にこだわっていました。関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)では、専門学校では教えてくれないような、幅広く深みのある講義を受けることができました。また、自習室は24時間開放されており、机は広く、非常に充実していました。入学後は、コロナ禍で制限が多かったものの、自習室を活用し、勉強が捗ったと感じています。また、原則として対面授業が実施され、すぐに講師に質問することができます。講師の方は試験勉強に協力的な方が多く、授業とは別に試験に関する質問も好意的に応じてもらいました。さらに、気軽に相談できる先輩や切磋琢磨できる友人もでき、充実した学生生活を送ることができました。私は、1人では試験勉強を乗り切ることができなかつたと思います。本学ASの恵まれた環境で、試験勉強をすることができ、幸せに思っています。



## CASE

## 2

EY新日本有限責任監査法人 浜松事務所 勤務

公認会計士になるために必要なものが  
全て揃っています

前田 和秀さん Maeda Kazuhide

私は関西大学経済学部に所属していた頃から公認会計士試験の勉強に取り組んでいました。しかし、中々合格できず、より良い環境で学びたいと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)へ進学しました。

本学ASの講義は試験対策になるものばかりではありません。しかし、先生方との距離感が近い講義、毎週のようにある小テスト、同期達との勉強の教え合い、一般企業へのインターンシップといった緊張感のある生活により、私の会計や監査に対する知識は確実に深まっていきました。また自習室で同期達と夜遅くまで勉強し、時には雑談で盛り上がった日々はとても楽しいものでした。

私の性格上、自信満々で試験に臨むことはできませんでしたが、本番では解答欄を全て埋めることができ、在学中に合格することができました。

振り返ってみれば、本学ASでの生活一つひとつが合格への足掛かりであり、今の私があるために必要なものであったと感じています。

受験生の皆様も、自身の知識に磨きをかけるため、本学ASに進学してはいかがでしょうか。



CASE  
3

## 日本ペイントホールディングス株式会社 勤務

## 公認会計士試験と合格後のキャリア

## 身野 将之さん Mino Masayuki

私は関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）へ入学後、本格的に公認会計士試験の勉強を開始し、当初は合格への不安もありましたが、本学ASの先生や職員の皆様に手厚くサポートいただき、無事合格することができました。合格後は大手監査法人に入所し、法定監査やM&A関連業務等を経て、現在は上場企業で組織内会計士として充実した日々を過ごしています。

私がお勧めする本学ASの特徴は、受験に役立つ体系的な理論学習、充実した学修支援環境および合格後のキャリアにつながる実務教育です。公認会計士試験は難関試験といわれますが、正しい勉強法を続ければ合格可能な試験だと思いますし、充実した環境が努力を後押ししてくれます。また、ゼミや講義で学んだ実務教育は、今の私の仕事やキャリアを支える基礎となっており、本学ASでの学びの価値を強く実感しています。

本学ASが皆様の将来にとっても価値ある場となることを心より願っております。

CASE  
4

## 税理士法人 風呂井会計 勤務

## 税理士になるための公認会計士試験

## 風呂井 誠さん Furoi Makoto

私が公認会計士をめざしたきっかけは、税理士になるという夢を早く実現させるためです。現在、税理士試験に合格する人の多くは40歳以上という状況になっています。試験の性質上、税理士試験を突破して税理士になる頃には30代、40代になっている可能性が高かったからです。そこで、税理士資格を付与される公認会計士をめざすことにしました。

公認会計士試験に合格して無事税理士になることができた今思うことは、やはり公認会計士試験に合格して税理士になる方が、税理士試験に合格して税理士になるよりも相対的に早く税理士になれる感じがします。

ぜひ、税理士をめざしている方も、会計専門職大学院で勉強して公認会計士試験に合格して税理士になるという方法を考えてみてはいかがでしょうか。

大学卒業後、公認会計士試験合格をめざして予備校に通いましたが、試験に合格することができませんでした。そこで、関西大学会計専門職大学院（以下、本学AS）に進学することにしたのですが、本学ASではただ暗記をするのではなく、理解を深める勉強ができました。

また、会計専門職大学院を修了すると公認会計士試験の短答式試験の一部免除があり、精神的にも余裕を持って公認会計士試験を受験できるようになりました。

予備校に通いながら公認会計士試験を受験している方で、行き詰っている方がいらっしゃるなら、本学ASはぜひおすすめです。



## 公認会計士試験合格者状況

## 過去3年間実績

※（ ）内は内数で、在学生合格者数を示す。

合格年度	合格者数	主な就職先
2019年度	11名(4名)	EY新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwCあらた有限責任監査法人、優成監査法人（現太陽有限責任監査法人）ほか
2020年度	6名(2名)	
2021年度	6名(2名)	

## 大西 靖 教授

Onishi Yasushi



## ■ 担当科目

中級工業簿記、上級管理会計論、ソリューション各科目

## ■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- ・「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- ・著書は「環境経営イノベーションの理論と実践」(中央経済社)(共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数

## 清水 涼子 教授

Shimizu Ryoko



## ■ 担当科目

会計専門職業倫理、自治体マネジメントと監査

## ■ プロフィール

- ・東京大学法学部卒業
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員
- ・みずほ監査法人において約18年間勤務。途中、監査部門から公共セクター部に移籍。公共セクター部では、公的機関への監査及びコンサルティング、海外の公会計先進国の実務の調査研究業務等に従事
- ・国際会計士連盟公会計委員会日本代表委員等(04年1月~06年12月)、財務省、総務省等政府関係審議会委員、東京都、大阪府等地方公共団体関係審議会委員を務める。
- ・主な著書として、「地方自治体の監査と内部統制-2020年改正制度の意義と米英との比較」(同文館出版)、「公会計の基礎知識-各国基準と国際公会計基準-」(朝陽会)ほか多数

## 加藤 久明 教授

Kato Hisaaki



## ■ 担当科目

中級商業簿記、上級簿記論、ソリューション各科目、修士論文各科目

## ■ プロフィール

- ・立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- ・「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究-アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて-」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
- ・主な著書として、「現代リース会計論」(中央経済社)、「リース会計基準の論理」(税務経理協会)(共著)、発表論文として、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」、「IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察」ほか多数

## 富田 知嗣 教授

Tomita Satoshi



## ■ 担当科目

上級財務会計論、会計基準論、ソリューション各科目、修士論文各科目

## ■ プロフィール

- ・名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- ・「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
- ・公認会計士
- ・主な著書として、「利益平準化のメカニズム」(中央経済社)、「倒産指数」(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響-会計情報システムと法制度の考察-」ほか多数

## 柴 健次 教授

Shiba Kenji



## ■ 担当科目

会計制度論、公会計論\*、ソリューション各科目、修士論文各科目

## ■ プロフィール

- ・神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
- ・「市場化の会計学」により博士(商学)関西大学の学位取得
- ・日本会計研究学会理事、政府会計学会顧問、日本会計教育学会顧問、日本経済会計学会(旧日本ディスクロージャー研究会)名誉会長、その他諸学会理事・評議員等、元税理士試験委員・公認会計士試験委員等
- ・91年「金融資産の証券化と資産の認識」により日本会計研究学会賞を受賞
- ・主な著書として「テキスト金融情報会計」「市場化の会計学」(以上、中央経済社)、「外貨換算会計論」(大阪府立大学)、「自己株式とストック・オプションの会計」(新世社)

## 中村 繁隆 教授

Nakamura Shigetaka



## ■ 担当科目

法人税法、租税法理論、ソリューション各科目、修士論文各科目

## ■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- ・「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学)関西大学の学位取得
- ・「課税繰延べ防止策の研究-FIF(Foreign Investment Fund)ルールを主題として-」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
- ・著書として、「教材国際租税法 新版」(慈学社出版)(分担執筆)、発表論文として、「国際的組織再編税制の展開」、「Cross-border Corporate Reorganizations and the Tax Treaty Policy -Focusing on Reorganization Clauses Concerning Substantial Participations Clauses in Japanese Tax Treaties-」ほか多数

●担当科目は、2022年度開講の各教員の担当科目を示す。

●現職は2022年4月現在

※は特殊講義として開講

## 松本 祥尚 教授

Matsumoto Yoshinao



### ■ 担当科目

監査制度論、監査報告論、ソリューション各科目、修士論文各科目

### ■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- ・日本監査研究学会会長、日本内部統制研究会理事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会副理事長、金融庁企業会計審議会臨時委員、IAASB Official Observer for JFSA、元日本会計研究学会幹事、元会計大学院評価機構評価員、元公認会計士試験委員（監査論）
- ・主な著書として、『ベーシック監査論』（同文館出版）（共著）、『監査報告書論』（中央経済社）（共著）、『監査・証明業務の多様性に関する研究』（日本公認会計士協会出版局）（編著）、『公認会計士の将来像』（同文館出版）（共著）、『わが国監査報酬の実態と課題』（日本公認会計士協会出版局）（共著）、『会計士監査制度の再構築』（中央経済社）（共著）、『実証的監査理論の構築』（同文館）（共著）ほか多数

## 三島 徹也 教授

Mishima Tetsuya



### ■ 担当科目

企業法、会社法、ソリューション各科目、修士論文各科目

### ■ プロフィール

- ・関西大学大学院法学研究科私法専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- ・主な著書として、『プライマリー会社法（募集株式の発行等、新株予約権、社債）』（法律文化社）、『プライマリー商法総則・商行為法（商業帳簿）』（法律文化社）（いずれも共著）、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任（一）（二完）』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察—ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として』ほか多数

## 宗岡 徹 教授

Muneoka Toru



### ■ 担当科目

インベストメント論、企業分析論、ソリューション各科目

### ■ プロフィール

- ・東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- ・日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授（現）。（独）医薬品医療機器総合機構監事、東京大学客員教授（現）、上場企業の非常勤取締役（現）、非常勤監査役（現）等
- ・財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員（現）、日本公認会計士協会委員会委員等
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員、システム監査技術者等

## 特別任用教員

## 池上 しのぶ 教授

Ikegami Shinobu



### ■ 担当科目

会社経理実務、企業情報の読み方と使い方、不正摘発監査論\*

### ■ プロフィール

- ・神戸商科大学商経学部経営学科卒業
- ・公認会計士、税理士
- ・監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、労働組合監査、社会福祉法人監査、医療法人監査業務に従事するとともに、池上公認会計士事務所にて、税務業務、内部統制構築支援業務、会計コンサルティング業務（連結会計支援等）等を行う。

## 小林 依子 教授

Kobayashi Yoriko



### ■ 担当科目

ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、資本市場論

### ■ プロフィール

- ・関西大学経済学部卒業
- ・公認会計士、税理士
- ・大学卒業後、大阪国税局に入局、管内税務署の法人課税部門にて法人税等調査等に従事
- ・その後十数年にわたり、有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法、会社法等の法定監査業務のほか、上場支援業務、財務調査、アドバイザリー等の業務に従事
- ・2013年より3年間、任期付国税審判官として大阪国税不服審判所に入所、国税に関する審査請求事件の審査に従事
- ・公認会計士・税理士事務所を開設、監査業務のほか、税務業務、組織再編等支援、価値評価業務等を行う。

## 福島 康生 教授

Fukushima Yasuo



### ■ 担当科目

監査基準論、会計事例研究、監査事例研究

### ■ プロフィール

- ・大阪大学経済学部卒業
- ・公認会計士
- ・有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法監査業務、上場準備企業への準金商法監査・財務調査・上場支援業務、会社法監査業務に従事
- ・主な監査経験業種は、精密機械メーカー、アパレル卸、医療器材・医薬卸、創薬系ベンチャー、産業素材メーカー、電気通信業、テーマパーク、請負工事業等
- ・監査法人では事業部品質管理（主にIPO準備企業）・不正調査対応担当並びに大阪事務所非監査業務品質管理担当

## 和田 泰史 准教授

Wada Taishi



### ■ 担当科目

上級原価計算論、企業価値マネジメント論

### ■ プロフィール

- ・関西学院大学大学院経営戦略研究科卒業
- ・公認会計士
- ・EY新日本有限責任監査法人において主に法定監査、株式公開支援等に従事するほか、各種セミナー講師等を担当。
- ・その後、和田泰史公認会計士事務所を設立し、株式公開支援、内部統制構築支援、財務調査、上場企業の決算支援業務等を行う。
- ・また、AKATUS合同会社を設立し、公営企業向けに経営戦略策定・改定支援、地方公営企業法適用支援、水道料金・下水道使用料改定支援、会計業務支援、内部統制構築支援、モニタリング支援等のサービスを提供。
- ・日本公認会計士協会近畿会 幹事、中堅若手委員会 副委員長、組織内会計士委員会 副委員長、地区会部 副部長を務める（現）。

## 客員教授



**岩城 利明氏**  
Iwaki Toshiaki  
会計検査院  
事務総長官房審議官  
(第3局 国土・環境担当)



**原田 大輔氏**  
Harada Daisuke  
有限責任あずさ監査法人  
専務理事(関西地区統轄、大阪事務所)  
公認会計士



**藤沼 亜起氏**  
Fujinuma Tsuguoki  
元国際会計士連盟会長  
元日本公認会計士協会会長  
元中央大学大学院ビジネススクール  
特任教授(現CBSフェロー)など

## 兼任教員・兼任教員

**浅野 信博** Asano Nobuhiro  
●現職 大阪市立大学大学院経営学研究科 准教授  
●担当科目 英文会計論

**韓 池** Kan Chi  
●現職 大阪公立大学経済学研究科 教授  
●担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

**早川 翔** Hayakawa sho  
●現職 流通科学大学専任講師  
●担当科目 管理会計事例研究

**荒井 巖** Arai Iwao  
●現職 太陽有限責任監査法人/公認会計士/  
不動産鑑定士  
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

**上林 憲雄** Kanbayashi Norio  
●現職 神戸大学大学院経営学研究科 教授  
●担当科目 経営学理論

**広瀬 憲三** Hirose Kenzo  
●現職 関西学院大学商学部 教授  
●担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

**新井 康平** Arai Kohei  
●現職 大阪公立大学経済学研究科 准教授  
●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論  
国際管理会計事例研究

**岸本 達司** Kishimoto Tatsuji  
●現職 新世総合法律事務所/弁護士  
●担当科目 企業法判例演習

**古橋 孝志** Furuhashi Takashi  
●現職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役  
●担当科目 企業実践コミュニケーション

**飯田 俊治** Iida Toshiharu  
●現職 EY新日本有限責任監査法人/公認会計士  
●担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

**吉良 勝明** Kira Katsuaki  
●現職 公認会計士/税理士/社会保険労務士  
●担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

**古屋敷 博文** Furuhashiki Hirofumi  
●現職 古屋敷税理士事務所/税理士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**石原 美保** Ishihara Miho  
●現職 石原公認会計士・税理士事務所/公認会計士  
●担当科目 特殊講義(企業情報の読み方と使い方)

**坂口 順也** Sakaguchi Junya  
●現職 名古屋大学大学院経済学研究科 教授  
●担当科目 戦略管理会計論

**堀竹 学** Horitake Manabu  
●現職 追手門学院大学 教授  
●担当科目 民法、特殊講義(民法[債権])

**牛島 慶太** Ushijima Keita  
●現職 牛島慶太税理士事務所/税理士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**佐久間 智広** Sakuma Tomohiro  
●現職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授  
●担当科目 国際管理会計事例研究

**松井 隆雄** Matsui Takao  
●現職 公認会計士  
●担当科目 会計専門職業倫理、特殊講義(BATIC演習)

**内田 聡** Uchida Satoshi  
●現職 EY新日本有限責任監査法人/公認会計士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**高田 知実** Takada Tomomi  
●現職 神戸大学大学院経営学研究科 教授  
●担当科目 国際監査基準論

**松浦 総一** Matsuura Soichi  
●現職 立命館大学経営学部 准教授  
●担当科目 税務事例研究

**榎本 成一** Enomoto Seiichi  
●現職 株式会社iBridge Japan 代表取締役/公認会計士  
●担当科目 コストマネジメント論

**筒井 万理子** Tsutsui Mariko  
●現職 近畿大学経営学部 教授  
●担当科目 経営戦略・組織論

**毛利 亮太** Mori Ryota  
●現職 公認会計士  
●担当科目 特殊講義(IFRS演習)

**遠藤 基弘** Endo Motohiro  
●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士  
●担当科目 IFRS事例研究

**中丁 卓也** Nakacho Takuya  
●現職 公認会計士/アーク・アンド・カンパニー  
株式会社代表取締役/パートナー  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**弓場 啓司** Yumiba Keiji  
●現職 公認会計士/一般社団法人国際コンピュータ  
利用監査教育協会代表理事  
●担当科目 特殊講義(実践デジタル監査演習・ICAEA JAPAN寄附講座)

**大塚 勝弘** Otsuka Katsuhiko  
●現職 大塚勝弘公認会計士事務所/公認会計士  
●担当科目 特殊講義(新規ビジネスの立上げと成長戦略)

**野口 卓士** Noguchi Takashi  
●現職 税理士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**良永 康平** Yoshinaga Kohei  
●現職 関西大学経済学部 教授  
●担当科目 統計学

**小澤 義昭** Ozawa Yoshiaki  
●現職 桃山学院大学経営学部 教授/公認会計士  
●担当科目 監査実務論、組織再編会計論

**野田 敏男** Noda Toshio  
●現職 野田会計事務所/公認会計士/税理士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**米山 高志** Yoneyama Takashi  
●現職 公認会計士/税理士  
●担当科目 特殊講義(税務と会計)

●担当科目は、2022年度開講の各教員の担当科目を示す。

●現職は2022年4月現在

## 学費・諸費 (2年コース)

2023年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度 (3年コース・4年コース) の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種別	区分	2023年度		2024年度以降 (年間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入学金	260,000円		
	授業料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸費	校友会基本会費	10,000円		20,000円
合計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科第26条第11号に規定する者 (飛び級入試合格者) が、会計研究科 (専門職大学院) へ進学する場合は、入学金 (入学登録金) を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生在が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金 (入学登録金) を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学 (大学院含む) 出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

## 奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト (<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>) にてお知らせします。外国人留学生 (在留資格が「留学」) の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

## ① 関西大学大学院会計研究科 (会計専門職大学院) 給付奨学金 (2023年度予定)

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
<b>高度な資格取得者 (学部卒業見込者、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者)</b>		
ア 公認会計士試験 (論文式) 1科目以上合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験 (短答式) 合格者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
入試成績優秀者	年間132万円 (授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または 年間132万円 (授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または 年間66万円 (授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生 (1年間全額または半額給付) に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

## ② 日本学生支援機構奨学金 (2022年度現行)

第一種奨学金 (無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金 (有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

## 2023年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集 <sup>※2</sup>	1月募集 <sup>※2</sup>	3月募集 <sup>※2</sup>
入試種別 <sup>※1</sup> (方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	大 阪			
Webエントリー期間	2022年 6月20日(月) }	2022年 9月29日(木) }	2022年12月20日(火) }	2023年 2月13日(月) }
入学検定料納入期間	2022年 6月27日(月)	2022年10月 6日(木)	2023年 1月10日(火)	2023年 2月20日(月)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	2022年 7月10日(日)	2022年10月23日(日)	2023年 1月22日(日)	2023年 3月 4日(土)
合格者発表日	2022年 7月15日(金)	2022年10月28日(金)	2023年 1月27日(金)	2023年 3月10日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

## 2023年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(簿記および原価計算)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

## 入学試験結果

	2020年度			2021年度			2022年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	78	47	34	123	45	32	95	41	31
学内進学試験	9	9	8	13	13	12	14	14	12
早期卒業者特別入試	0	0	0	3	3	3	0	0	0
公募制推薦入試	0	0	0	0	0	0	2	2	1
指定校推薦入試	2	2	2	8	8	8	5	5	4
外国人留学生入試 <sup>※</sup>	11	3	3	6	2	2	0	0	0
資格取得者・社会人入試	4	4	3	5	4	3	11	8	6
合 計	104	65	50	158	75	60	127	70	54

※ 外国人留学生入試(2022年度から募集停止)には留学生別科特別入試の人数を含みます。

# 2022年度 オンライン進学説明会等日程



## 進学説明会

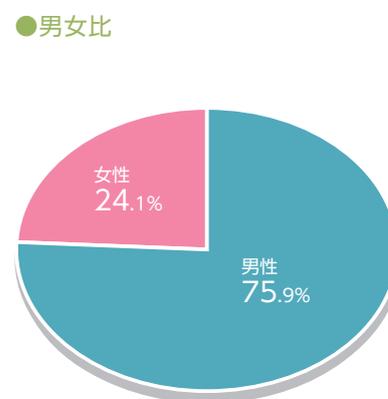
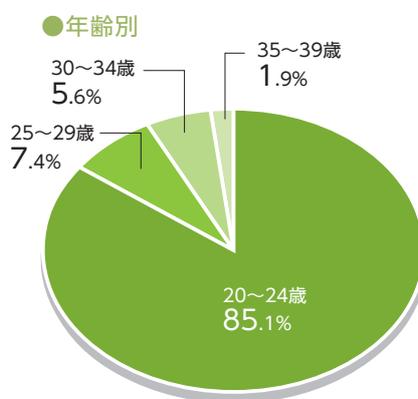
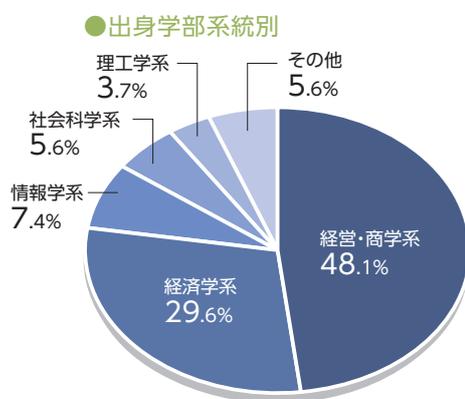
5月21日(土)	10:00~11:30	研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答	Zoomによる オンライン形式	事前申込制
6月 4日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答		
8月 8日(月)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答+在学生または修了生による体験談、質疑応答		
10月15日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答		
12月10日(土)		研究科概要、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答+在学生または修了生による体験談、質疑応答		

## 保護者対象 進学説明会

5月28日(土)	10:00~11:30	研究科概要説明、公認会計士試験概要、入試制度、奨学支援制度、質疑応答	Zoomによる オンライン形式	事前申込制
11月19日(土)				

○ 進学説明会等の日程については、やむを得ず変更することがあります。最新の情報は、関西大学会計専門大学院ウェブサイトでご確認ください。

# 2022年度 入学者データ



# 長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目	2年コースの2年次配当科目		
4年コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

